

スポーツ総合演習

スポーツ健康科学科の授業は一般教科に加えて 3 年間で計 25 単位の専門科目の授業があります。

専門科目では講義・演習系の授業は「スポーツ概論」と「スポーツ総合演習」、実技系の授業は部活動と連動した「スポーツⅠ（陸上・水泳）、スポーツⅡ（野球・バドミントン）、スポーツⅢ（柔道・フェンシング）、スポーツⅣ（野外活動）、スポーツⅤ（体づくり運動）」を履修しています。

スポーツ総合演習では 1 年生は「コンピューターの基本操作」（ワード、エクセル、パワーポイント）、「Dartfish（動作解析ソフト）を用いた動作分析」、2 年生は「バイオメカニクス」、「統計解析」等を行います。

そして、2 年生の夏休み以降には普段の授業、部活動などにおいて「なぜだろう？」と興味を持ったことについてテーマを設定し、実験・調査などを行い、その成果をプレゼンテーションする研究発表会を行っています。

実験・調査を計画的に進めていくためには時間・場所、道具・被検者（実験に協力してもらえる対象者）など様々な調整力が試されます。

また、結果について相関があるのか？統計的に差があるのか？を検定するなど統計的手法が必要になります。

「相関って何？」、「有意な差ってどういうこと？」 初めて聞く言葉が多く、いきなりではとっつきにくい内容ですが、今回は「統計解析の理解を深める導入として大変わかりやすい授業でした。



